

技 第 6 2 1 号
令和 4 年 3 月 1 1 日

一般社団法人島根県建設業協会
会長 中筋 豊通 様

島根県土木部技術管理課長
(企画調査グループ)

島根県土木等技術職員の建設工事現場派遣研修に関するアンケート調査結果について (送付)

平素より、島根県土木行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、標記研修について、協会員の皆様への連絡調整など、ご協力を賜り、重ねてお礼申し上げます。

令和 3 年度の研修がすべて終了しましたので、別添の通りアンケート調査結果を取りまとめました。

ご査収くださいますようお願いいたします。

担当
企画調査グループ 持田
TEL 0852-22-6550
FAX 0852-25-6329

**島根県土木等技術職員の建設工事現場派遣研修
令和3年度 アンケート調査結果 概要版**

1 研修概要

(1) 研修生所属事務所

松江県土	雲南県土	出雲県土	県央県土	浜田県土	益田県土	隠岐県土	浜田河川
2名	3名	2名	5名	2名	2名	2名	0名
合計 18名							

(2) 研修生経験年数

平成30年度採用（4年目）	0名
平成31年度採用（3年目）	1名
令和2年度採用（2年目）	17名
令和3年度採用（1年目）	0名
合計	18名

(3) 地区協会ごと派遣数

松江	安来	雲南	仁多	出雲	邑智	大田	浜田	益田
4名	1名	1名	1名	2名	1名	2名	4名	2名
合計 18名								

(4) 研修日程

令和3年10月6日～令和3年12月15日で研修実施（2～3日間／人）

(5) 研修内容概要

- ・朝礼、終礼、新規入場者教育、KY活動、社内安全パトロールなど
- ・測量業務、出来形計測、写真撮影、管理資料作成補助
- ・工事契約から着手までの計画・立案方法、設計照査について、履行報告書作成補助
- ・大型土のう作成作業、配筋作業、現場清掃作業、ドローン空撮、丁張設置体験
- ・現場見学、工程会議参加、確認立会同行、圧縮強度試験見学、大型クレーン組み立て見学
- ・ICT法面出来形管理、ICT施工技術の実習体験

2 研修生向けアンケート調査結果（回答数：18名）

2-1 通勤について

(1) 通勤手段、通勤距離及び所要時間

徒歩	自転車	車	J R
0名	0名	18名	0名
合計 18名			

	通勤距離	所要時間
最近	4 km	10分
最遠	49 km	70分
平均	25 km	38分

(2) 通勤に関する意見等

無理があった	無理はなかった
1名	17名
合計 18名	

<意見等>

- ・無理はなかったが、もう少し住居地から近い方が良い。
- ・松江市に祖母宅があったため、利用できたが、毎日雲南市から通うのはしんどかったと思う。
- ・車で通勤圏内だったので無理はありませんでした。

2-2 研修日数（3日間）について

長い	ちょうど良い	短い
2名	14名	2名
合計 18名		

<意見等>

- ・より様々な作業を経験できるため、1週間程度あると良い。
- ・1つの業者さんで3日は長いと思った。理由としては、工事は3日間では同じような作業になると思ったから。
- ・3日間とも違う現場作業を体験できたので、3日間はちょうどよい。
- ・現場内での作業を一通り体験するには3日では短かったです。2週間くらいあるとよいと思いました。

2-3 研修実施時期について

早い	ちょうど良い	遅い
0名	16名	2名
合計 18名		

<意見等>

- ・採用2年目研修も同時期にあるため、研修期間についてももう少し早めにわかると予定がたてやすいと思う。
- ・災害査定及び除雪契約時期の調整のため仕方がなかったが、実際は9月頃が好ましいと感じた。
- ・気温がちょうどよく、作業しやすい気候であった。
- ・採用2年目以降が適当だと思います。

2-4 受入先工事の受け入れ体制

十分だった	概ね十分だった	不十分だった
17名	1名	0名
合計 18名		

2-5 研修の充実度について

十分活かせる	概ね活かせる	不十分だった
15名	3名	0名
合計 18名		

2-6 研修実施準備中の困りごと

- ・研修実施準備中においては、大きな問題はなかった模様。

2-7 研修中の困りごと

- ・女性用トイレ等あるか不安があった。現場ではパーテーション等で区切って女性用と表記して下さっていたため、気にせず過ごすことができた。
- ・サンタリーボックスがなく、準備をした。(男性しかいない現場であるため仮にあったとしても使用はしづらい)
- ・暇な時間が長かった。対策として質問を沢山したりいろんな人についていたりした。

2-8 「研修を通じて気づいたこと、感想など」より抜粋

<研修生A>

安全に施工するために様々な取り組みを行いながら、天候等の環境も考慮しつつ、工期に間に合うように一つ一つの作業を効率良くこなす現場の大変さを改めて体験することができた。また、普段経験することの出来ない現場内作業は非常に新鮮で、貴重な体験となった。

<研修生B>

研修期間中に中間検査があり、検査のための準備について知ることができた。農道の大まかな施工方法、ICT施工についてなど、工事に関わることでなく、受注者目線から発注者に求めること、普段担当している自分の工事の相談など、様々なお話をさせて頂くことができた。

また、測量業務や管理資料に触れることで、受注者目線の業務内容を知ることができ、普段の業務に対する理解が一層深まったように感じた。

<研修生C>

監督職員として現場で見るとすべき点、考えて欲しい点等教えてくださり、非常に勉強になった。測量作業や、現場内作業についてもやり方だけでなく、なぜこの作業が必要であるかや質問にも丁寧に答えていただいた。研修を通して、これまで現場で見れていなかったことが多いと感じた。現場でしか分からないことは多いと思うので非常に良い経験になったと思う。

<研修生D>

現場の作業の流れや雰囲気等を感じることが出来た。自分も現場代理人の方任せにせずに監督員として一緒に考えながら工事を進めていきたいと改めて思った。

<研修生E>

現場での作業の一連の流れや雰囲気を知ることができて良かった。

海岸沿いということもあり、かなりの強風と寒さの中での作業となったため、現場作業の過酷さを知ることができた。

当該工事箇所は、当初の設計段階から間違いがあり、設計の照査に1ヶ月以上も費やしていた。そのため、工事の進捗に影響がでていた。コンサルの設計の成果を発注者側が精査しないとこのようなことが起きるため、入念なチェックが必要だと感じた。そうすることで、質のいい工事が出来上がると思う。

この3日間の研修を通じて、受注者側の立場からの視点で物事を見ることができ大変貴重な体験ができた。

<研修生F>

測量や供試体作成など普段の業務では体験できないようなことを学ぶことが出来た。

発注者の立会があるときには気を遣った前準備が多数されており、とても大変だと感じたため、これから自分はそのことを意識しながら立会に望みたい。

また、研修にて現場での工事監督、施工管理の大変さを改めて体感できた。

<研修生G>

発注者は基準にのっとった施工を要求するが、実際に施工するのは受注者であるため、双方が納得し、現場を終わらせていただくことが大切だと思った。

<研修生H>

現場の方々がどのように工事を進めているかを知ることができ、貴重な経験となった。

この工事ではICTによる施工をしていて、3次元CAD図面や実際に現場での施工を見学させていただいた。ICTを活用したことで施工性が向上したと現場の方が言っておられたので、もっと色々な工事でICTが広まると良いと思った。ですが、ミニバックホウ等しか使用できない箇所については、丁張りをかけておられたので、そういったところでも活用できるようになると更に良くなると感じた。

また、圃場整備ということもあり、地元との関わりも強くある現場だったので、地元との関わりというところもとても参考になりました。

<研修生I>

現場代理人の方に1対1で時間をかけて丁寧に工事の内容や測量のことを教えてもらったので、中身がよく理解でき、とても有意義なものになった。特に、トータルステーションの据え付け方や計測の仕方については大変勉強になった。

<研修生J>

今回の現場派遣研修では測量作業がやりたいと思っていたので、レベル、トータルステーションでの位置出しなどを行えて勉強になった。また、平面図、横断図の作成の仕方も学び、今後の業務に生かせるものとなった。

丁張りの作成には時間がかかり、施工業者の大変さを学んだ。ICT 測量の説明を受け、実際に測量を行った。丁張りが必要なく、施工時間の省略が行えていると感じた。

<研修生K>

高さや幅がわかる丁張りでも沢山の箇所の測量が必要となると知り驚いた。

<研修生L>

施工に係る段取りを意識することが大切だと改めて感じた。発注者としてワンデイ・リ spons を心がけ、施工段取りの支障にならないようにしなければならぬと感じた。雨の時は土が水を含み、施工が容易でないため、土工関係の仕事はできなくなることを、身をもって感じる事ができた。

<研修生M>

普段は受け取る工事打合せ簿の資料作成など行うことができました。実際に自分で作成してみることでどのくらい手間がかかるものなのかわかりました。工事の工程管理や立会などやらないといけないことの多さに驚いた。

発注者としてではなく受注者の立場で工事現場を見ることができ、普段の業務では経験できないことができました。

<研修生N>

実際の現場を見ると、想像以上の手間がかかり大変な作業であると感じた。

また、一連の作業の中で施工ヤードが狭く、重機の横転がないようにすることや、重機と作業員の接触をないようにすることに大変気を使われて作業されていた。このことから発注者は設計の段階で実際の施工のイメージをしてコンサルタントと協議をすることが重要であると感じた。

今回の研修で、現場代理人さんは何に気を使って、どのようにして仕事をされているかを間近でみることができ、今後の仕事の中で現場代理人さんと話すときも実際の施工のことをイメージしながら話すことができるようになると思った。

<研修生O>

測量業務一つをとっても、水系を張ることや墨打ちを行うこと等、様々な工程の上で実施されており、一日で実施できる作業量にイメージと大きな差異があった。このことから、工事が進んでいく中で受注者の方の作業を一日でも止めてしまうことで想像以上に全体の工期設定に大きな影響を与えてしまうことを知った。

監督員として業者の方にスムーズで正確な工事を進めていただくために、工事内容、実施作業内容を正しく理解し、協議事項が発生した際、工事を止めてしまうことがないように、極力早く、現場に適した答えが出せるように動くことができる職員になりたいと思った。

<研修生P>

普段の内業や立会等では経験することができないような現場ならではの苦労（天候等）や金銭面（歩掛が合わない工種、どのように対応してほしいか）などの意見を聞くことができ、今後仕事を進めていく上では貴重な体験となった。

<研修生Q>

業者の方がどんなことを感じながら作業しているのかを、現場見学などを通して直接聞くことができた。

<研修生R>

現場では特に協議・懸案事項が他工事と比べ多かったと聞いた。そのため設計の段階からしっかりと精査して発注しなければならないと改めて感じた。

現場代理人は日中、工事の関係者からの電話があり、現場内での協議も多くあった。外部からの見学者への対応も有り、幅広い業務内容であると感じた。

私が印象に残ったのは協議打合せ簿に協議内容の試算結果も記載していることだ。どのくらいの費用が掛かるかをパッと見たときに分かるのが良いと感じた。こうした双方のやりとりではわかりやすく資料を作ろうと思った。

<研修生S>

業務の中で、測量器械に触れることがないので、今回の研修で触れることができ、良い経験だった。

2-9 「研修制度全般に関する改善点」についての意見概要

- ・今回の現場は工事があまり動いていなかったなので、工事が動いている時に見たかった。また、工種が多い工事が見たかった。
- ・一日ずつ別の業者さんだったらさらに勉強になると思った。

3 受入先工事向けアンケート調査結果（回答数：17社（1社無回答））

3-1 研修日数（3日間）について

長い	ちょうど良い	短い
3社	12社	2社
合計 17社		

<意見等>

- ・工事の規模にもよりますが、当現場においては2日程度がちょうど良いと感じました。
- ・研修生が意欲的に取り組んでおられ良かった。また、今回は本人が、測量が苦手だと言っておられたので、測量を中心に研修を行った。
- ・2日間くらいがお互いに負担が少なくちょうど良いのではないかなと思います。
- ・工程の進捗状況により、あまり研修にならない工程になる可能性があるため、1週間程度あると色々見てもらうことができると思う。
- ・工事の工種によると思うが、今回の工事では床掘から基礎コンクリートの打設が出来、作業の流れを体験できたと思う。しかし研修者はもっと長く現場に従事したいとのこと。
- ・当現場は県道に隣接し、波積ダム管理所敷地内の限られた工事スペースであり、工事規模的には最適な期間であったと思います。
- ・現場での体験を目的とするのであれば良い。現場のことを、より実感するのであれば少し短いと思います。

3-2 研修実施時期について

早い	ちょうど良い	遅い
1社	15社	1社
合計 17社		

<意見等>

- ・工期末、年度末などは現場側として対応が困難となる。
- ・現場の進捗に合わせた日時設定であったため、主となる作業（吹付法枠）を見て頂くことができました。
- ・少し遅かったので、施工管理体験が少なかったです。
- ・希望した時期に実施していただいたので良かった。
- ・今回は垂直擁壁の仮設工が追加となり、想定していた作業を行うことが出来なかった。直前での日程調整があると助かる。
- ・天候にも恵まれ、本工事の工程的にもちょうどよい時期だったと思います。
- ・配水槽据付に合わせる形で調整をしていただいた。
- ・天候により、現場作業が中止となる事がある為、比較的天候が良い10月・11月上旬までが良いと思います。

3-3 研修生の研修態度

良好	概ね良好	良くなかった
16社	1社	0社
合計 17社		

3-4 研修実施準備中の困りごと

- ・予定表を作成して研修を行いましたので、困ったことは、ありませんでした。
- ・過去に研修生の受入れを行ったことがなく、どのような研修内容を行えばよいのか分からなか

った。

- ・より多様な工種をと思い研修時期について提出したが、工程が想定以上に進んだため困った。しかし結果は色々と体験してもらう事ができ安心した。
- ・仮設工の追加により本来の垂直擁壁の施工を体験研修することが困難となった。その為、研修を実施する為だけの作業を準備した。
- ・事前の研修希望内容が測量作業との事でしたので、実際に現場内において研修を行いたいところでしたが、当工事エリアは比較的小規模であり、その中で工事車両の出入り及び重機の稼働が頻繁にあるため、安全面を考慮し、当工事現場事務所敷地内での測量実習をさせて頂きました。
- ・研修生を現場で放置しない様に、自分が研修中心に行動できる様に調整する必要があった。

3-5 研修中の困りごと

- ・現場代理人と主任技術者を兼務しているため、業務による外出がある。
- ・3日間連続して天候が悪く、測量や現場作業の業務ができなかった。書類作成の業務に変更したが時間配分が難しかった。
- ・作業する上で、研修者に待たせる場面があったことは反省する点だと思う。
- ・研修期間中において、現場内軽作業を予定しておりましたが、工程の前進により予定していた軽作業ができなかったため、測量実習内容に追加（計画）を行い対応させて頂きました。
- ・飛び入りで内業を任せる事も難しく、屋外での施工管理的な業務だけで間を持たせることは難しいので、内容が現場体験に偏ってしまった。
- ・天候が悪く、当初予定していた作業が行えなかったので施工手順などを説明できなかった。（前回工事の写真で説明した。）

3-6 感想等

<受入先A>

当現場は職員2名で運営しており、研修期間も現場管理に追われる中で、研修として特別な事を時間を割いて実施することができなくて申し訳なかった。

もっと大規模現場の方が良いのではないかと思います。

<受入先B>

研修生の視点に立った内容になっていたかわからないため、質疑応答の時間をあえて設ける事も大切であるのではないかと感じました。

<受入先C>

実際、研修生にどのようにして現場管理を行っているのか等が分かってもらえる機会があり良かったと思う。又、普段の業務での疑問等（発注者側・受注者側）も分かって頂ける良い機会であった。これからも継続的に研修を行って頂きたいと思う。

<受入先D>

現場が目まぐるしく動くタイミングだったため、研修が充実していたと感じるが、そうでなかった場合のために、もう少し直前まで研修日を選択出来る余地があれば良いと感じた。

<受入先E>

研修生を受け入れるにあたり、業者側も改めて現場を見直し、改善点に気づけた事が良かった。社員も研修生から良い刺激を受けたと思う。研修期間中は研修生への指導係を専属でつけたので、何とか成立したが、そうでなければ内容のある研修を行う事は難しい。よって、現場が手を取られた事は大変であった。

<受入先F>

研修生が今現在抱えておられる現場と研修現場と照らし合わせて、違いや困っていることを積極的に相談していただきました。いろいろのことを吸収しようと言われていたので、雨続きで実際に作業体験することが少なくなってしまう、3日間を天候の良い日にもっと有効に使えたら良かったなど率直に思いました。研修生の方のような考え方、若い力はこの業界に必要であると感じました。

<受入先G>

研修態度が大変良く、こちら私含め作業員全員が気持ちよくアドバイスする事ができた。少しでも今後のお役に立てたなら幸いです。

<受入先H>

近くのトンネル工事、ICT活用現場を見学できた事はいい経験になったと思います。

<受入先I>

工事受注初期の段階で、設計図書の照査や、建設会社職員と一緒に知恵を出し合っの仮設備計画立案・協議書作成等も良い体験になると思いました。

<受入先J>

今回は事情により、想定していた作業を行うことが出来なかったが、土木作業全般に付随する、床掘・コンクリート打設を実施できたのは良かったと思う。研修者も土木作業の普段は見えてない大変さが分かったとの事で、現場への視点が広がったと思う。

<受入先K>

今回の研修期間中において、研修生の方からの質問も多くあり、一生懸命な姿も伺えました。研修終了時には「ありがとうございました。今後の業務に生かしていきたい。」との言葉も頂き、研修を実施させて頂いて良かったなど思いました。反省点としては、事前の研修内容計画時において、何を体験して頂けるのが良いのか、多少悩む所がありましたので、こちらからも質問等行い、研修希望内容を多く収集し、計画を行うことで、更に良い研修になったのではないかと反省しております。

<受入先L>

現場体験は只の肉体労働でしたが、前向きに取り組んでおられた。しかし、研修内容としては気の毒な気がした。

スケジュールの調整ができるのなら、連続3日間でなくても、興味のある作業時のみの実施でも良いと思う。

<受入先M>

職員の方との交流が図れたことが良かった。

<受入先N>

現場を進めていく大変さや、書類作成の多さなど発注者側からの目線ではなく、受注者側からの目線で今後、受注業者との対応が出来ると尚スムーズに事業が進んでいくと思われるので良いと思います。

<受入先O>

受注者と発注者の立場は違うが、構造物を完成させるという目的は一緒であり、その過程を受注者の視点から3日間感じてもらう中で、実際の現場は出来形確認をするにも手間がかかる現状を目の当たりにし、今後、根拠をもち業者との対応を行っていききたいとのことでした。

3-7 「研修制度全般に関する改善点」についての意見概要

<研修内容の検討、設定について>

- ・1つの現場を深く理解することも大切であるが、多くの現場を見る事も大切と考えますので現場への派遣ではなく会社への派遣とし研修することでより多くの知識が習得できるのではないかと思います。(2日間：現場,1日間；現場視察(当社施工中現場))
- ・衛生設備関係について、具体的に用意するものが指定されていると準備しやすく思う。
- ・研修の日数を2日間程度にしてもらい、研修の日には研修生と受け入れ側で相談して概ねの期間のあいだで天候の良い日程に自由に変更できるようにならないでしょうか？
- ・研修者は昼食分の飲み物は用意していたが、作業中の飲み物は準備させておくことは必要だと思う。
- ・島根県のヘルメットを用意して来られたが、研修中は弊社ヘルメットの着用をお願いした。

令和3年度 建設工事現場派遣研修 各研修生の受入先工事

受入先工事				研修生						派遣期間
地区協会	受注者 (会社所在地)	工事名 (工事場所)	主な工種及び数量	所属事務所	所属課 (経験年数)	職	ふりがな 氏名	現担当 業務	性別	
(一社) 島根県松江地区建設業協会	まるなか建設(株) (松江市玉湯町布志名767番地52)	(一) 大野魚瀬恵曇線(古浦工区) 防安交付金(改築) 工事(第4期) (松江市鹿島町古浦)	施工延長 L=565m 舗装工 A=3, 950m ²	雲南県土整備事務所 仁多土木事業所	維持管理課 (2年)	技師	みずたに 水谷 ともや 友哉	道路維持	男	11/29~12/1
(一社) 島根県松江地区建設業協会	カナツ技建工業(株) (松江市春日町636番地)	(主) 松江島根線 加賀1工区 防安交付金(法面修繕) 工事その2 (松江市島根町加賀)	吹付法砕工 A=480m ²	出雲県土整備事務所	維持第一課 (2年)	技師	えんどう 遠藤 ももか 桃花	維持	女	12/13~12/15
(一社) 島根県松江地区建設業協会	(株)庭の川島 (松江市菅田町218番地)	令和3年度 農地中間管理機構関連農地整備事業 新庄地区 区画整理その7工事 (松江市新庄町)	整地工 A=4.7ha	出雲県土整備事務所	水利課 (2年)	技師	やなぎ 柳浦 しょうへい 正平	農林工務	男	10/27~10/29
(一社) 島根県松江地区建設業協会	マツチカ(株) (雲南市加茂町神原1382-1)	(主) 松江鹿島美保関線(片江2工区) 防安交付金(改築) 工事 (松江市美保関町片江)	大型かご砕工 A=100m ² U型側溝工 L=135m	県央県土整備事務所	治山・林道課 (2年)	技師	なかやま 中山 ともりのり 智徳	治山・林道	男	10/19~10/21
(一社) 島根県安来地区建設業協会	(有)松浦建設 (安来市大塚町537番地2)	令和2年度 農地整備事業(経営体育成型) 吉田地区 区画整理その9工事 (安来市下吉田町外)	整地工 A=3.1ha	雲南県土整備事務所	ほ場・防災課 (2年)	技師	おおぐに 大國 まお 真央	ほ場	女	11/10~11/12
(一社) 島根県安来地区建設業協会	(株)コンドウ (安来市広瀬町広瀬396)	国道432号菅原広瀬バイパス(2工区) 総合交付金(改築) 工事 第2期 (安来市広瀬町広瀬)	掘削工 V=4,350m ³ 擁壁工(補強土壁) V=4,220m ³	雲南県土整備事務所	農道整備課 (2年)	技師	たまき 玉木 こうのすけ 幸之介	農道	男	11/2~11/5
(一社) 島根県安来地区建設業協会	(有)米原組 (安来市矢田町8番地)	令和2年度 農地整備事業(経営体育成型) 吉田地区 区画整理その8工事 (安来市下吉田町外)	整地工 A=6.1ha	隠岐支庁県土整備局	農村整備課 (2年)	技師	たご 田子 しよま 翔馬	地すべり	男	11/15~11/17
(一社) 雲南建設業協会	(株)植田建設 (雲南市大東町飯田130-2)	農地整備事業(通作条件整備) 幡屋地区 道路(その13) 工事 (雲南市大東町仁和寺)	道路工L=1040m(掘削、盛土 小型水路工、種子吹付、路盤工等)	松江県土整備事務所	ほ場整備第一課 (2年)	技師	たかはし 高橋 たく 琢	ほ場整備	男	11/9~11/11
(一社) 仁多地区建設業協会	有限会社 福間工務店 (仁多郡奥出雲町三成703番地)	2ゼロ県 国道314号(湯の原工区) 防安交付金(交通安全) 工事 (仁多郡奥出雲町三成)	重力式擁壁V=34m ³ ブロック積A=202m ²	松江県土整備事務所	農村整備課 (2年)	技師	いけがら 池淵 はやと 隼人	ほ場整備 水利施設	男	10/20~10/22
(一社) 島根県出雲地区建設業協会	(株)フクダ (出雲市斐川町沖洲1080)	斐川上島線(武部2工区) 総合交付金(改築) 工事 第7期 (出雲市斐川町三絡)	逆T式橋台 N=1基 深礎杭(φ2000) N=4本 補強土壁工 L=24m 付替水路工 L=135m	県央県土整備事務所	土木工務第二課 (2年)	技師	ふるた 古田 おおすけ 旺脩	土木工務	男	11/17~11/19
(一社) 島根県出雲地区建設業協会	(株)トガノ建設 (出雲市白枝町839-2)	外園高松線(下横工区) 防安交付金(改築) 工事 第5期 (出雲市下横町)	逆T式橋台 N=2基 中樑鋼管杭工 N=20本 プレテン中空床版橋 N=1橋	隠岐支庁県土整備局	維持課 (2年)	技師	そのやま 園山 りょう治 諒治	道路維持	男	10/6~10/8
(一社) 島根県智建設業協会	(有)山本建設 (邑智郡邑南町日貫3062-1)	(主) 浜田作木線(吉原工区) 防安交付金(改築) 工事(第2期) (邑智郡邑南町日貫)	切土工V=1580m ³ 盛土工V=970m ³ 垂直壁工 L=129m	浜田県土整備事務所	農道整備課 (2年)	技師	のだ 野田 りょう 良哉	農道整備	男	10/26~10/28
(一社) 島根県浜田地区建設業協会	江津土建(株) (江津市江津町1333)	波積ダム建設事業 波積ダム管理所外構工事 (江津市波積町本郷)	ブロック積A=367m ² 、防護柵L=231m プレキャスト擁壁L=50m	県央県土整備事務所	土木工務第一課 (2年)	技師	いはら 糸原 ゆうたろう 祐太郎	土木工務	男	12/8~12/10
(一社) 島根県浜田地区建設業協会	(有)花岡組 (浜田市金城町下来原227-2)	令和3年度中山間地域農業農村総合整備事業 浜田東部地区元谷工区用水路(その2) 工事 (浜田市金城町今福)	パイプラインL=820m 配水槽 N=1基	県央県土整備事務所 大田事業所	農村整備課 (3年)	技師	かとう 加藤 まさゆき 誠之	ほ場整備	男	10/19~10/21
(一社) 島根県浜田地区建設業協会	第一建設工業(株) (浜田市三隅町三隅1528-7)	令和3年度広域基幹林道整備事業 三隅線 1工区その12道路工事 (浜田市三隅町矢原)	掘削工 V=12,563m ³ 盛土工 V=10,353m ³	益田県土整備事務所	農道・防災課 (2年)	技師	まつだ 松田 つかさ 僚	農業農村整備	男	11/15~11/16
(一社) 島根県浜田地区建設業協会	宮田建設工業(株) (浜田市朝日町91-13)	(一) 浜田八重可部線(後野工区) 総合交付金(改築) 工事 (浜田市金城町七条~後野町)	掘削工 V=21750m ³ 盛土工 V=4020m ³	益田県土整備事務所	維持第一課 (2年)	技師	あおやま 青山 しゅうへい 周平	道路維持	男	11/10~11/12
(一社) 島根県益田建設業協会	野村組 (益田市遠田町2554)	令和2年度 赤松・神出堤地区(神出堤) ため池整備工事 (益田市遠田町)	堤体工 1箇所	県央県土整備事務所 大田事業所	農道・防災課 (2年)	技師	とよた 豊田 あす 有寿人	地すべり	男	11/10~11/12
(一社) 島根県益田建設業協会	大畑建設 (益田市大谷町36-3)	(主) 益田阿武線(須子工区) 防災安全交付金(改良) 第5期工事 (益田市須子町)	橋台 1基 杭 8本 橋脚 1基 杭 11本	浜田県土整備事務所	農村・防災課 (2年)	技師	やだ 矢田 けいた 慶太	農村・防災	男	10/12~10/14